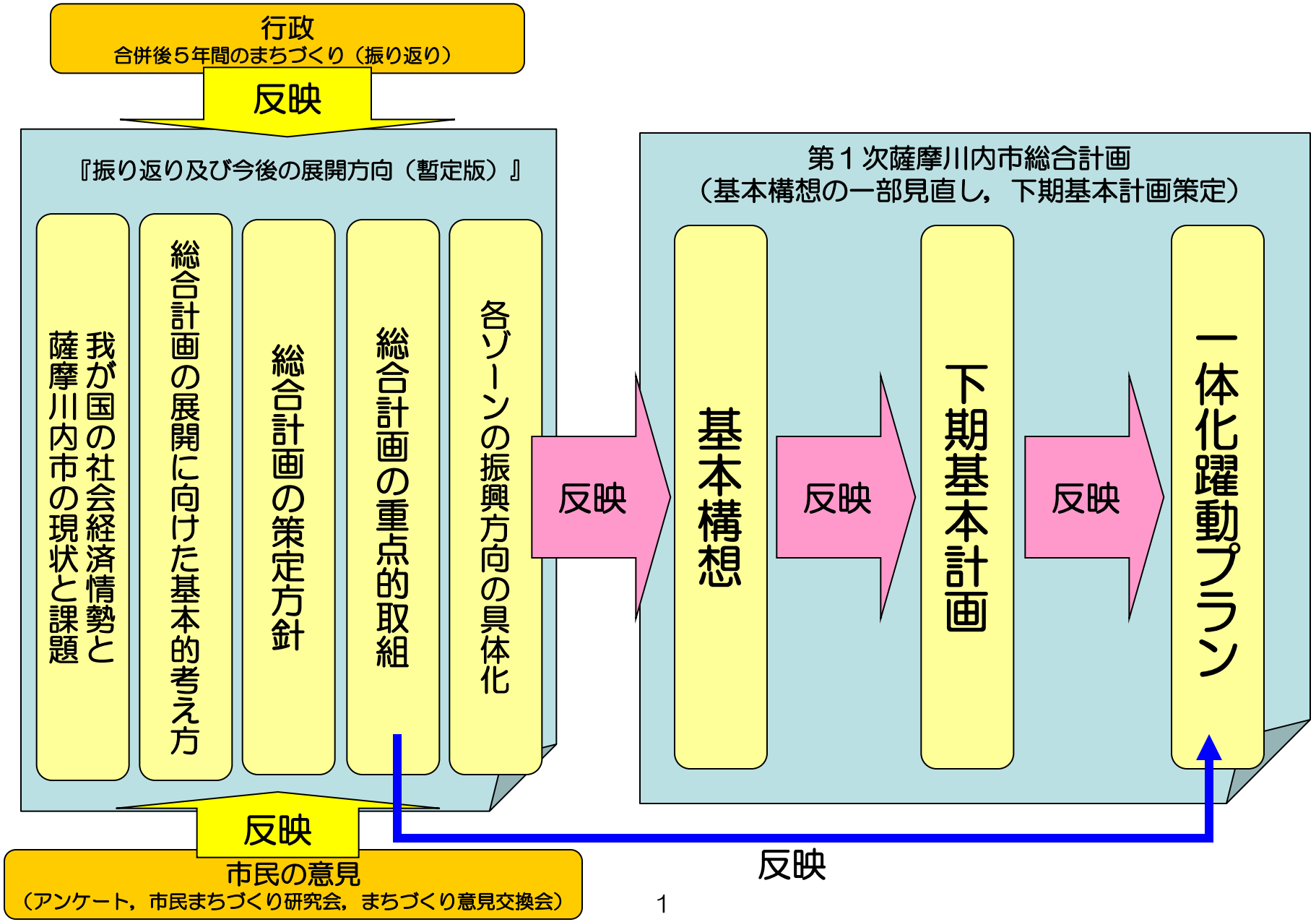
『振り返り及び今後の展開方向（暫定版）』

≪概要説明≫

平成２１年９月２４日

総合計画の策定に向けた検討の進め方



薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）

≪主な現状と課題≫
〇地域の一体感醸成
〇地域の活性化
〇過疎化の進展
〇人口減少
〇少子・高齢化の進展
〇ゴールド集落の出現による集落機能の低下
〇交通手段の確保，買い物等日常生活への不安
〇医師，医療従事者の不足
〇山林の荒廃，耕作放棄地の増加
〇小学校の廃校
〇地場産業の衰退
〇世界的な金融危機
〇厳しい雇用情勢
〇地方分権への対応　　など

≪主な取り組み実績≫
〇地区コミュニティ協議会制度の導入による地域力を育むまちづくりの推進
〇高速交通体系の充実（九州新幹線鹿児島ルート，南九州西回り自動車道）
〇企業立地の実現
〇重要港湾川内港における国際定期コンテナサービスの拡充及びファーストポート化（国内初寄港地）実現
〇国の「定住自立圏構想」先行実施団体への選定　など

≪市民の評価≫
〇市町村合併に対する総合的な評価
「よかった」の回答が20%，「よくなかった」の回答が23%，**「まだわからない」の回答が53.7%**
〇まちづくりに対する総合的な評価
「満足」が53.3%，「不満」が27パーセント
※H17調査と比較して「満足」は14.3%増

≪今後の主な重要課題≫
◎地域の一体感醸成
◎地域内格差の是正
◎暮らしに対する住民不安の解消
◎市民が住みやすさを実感できる公共サービスの維持・確保

≪次世代の礎となる戦略テーマ≫
◎「薩摩川内スピリッツ」をキャッチフレーズとしたシティセールスの展開
◎地域資源の掘り起こしによる都市ブランドの構築
◎活力と豊かさを感じる地域づくり
◎商工業・観光・農林畜産業・水産業など付加価値の高い地場産業の振興
◎子育て支援体制の充実・公共交通システム導入等による安心・快適なまちづくりの推進
◎まちづくりを担う人材・組織の育成

総合計画の策定方針

策定方針

- 薩摩川内市まちづくり計画を踏まえた計画
- 「情報の共有」・「協働」・「参画」の実践により，つくる過程を大切にした計画
- これまでのまちづくりに対する振り返りを踏まえた計画
- 都市文化ゾーン，田園文化ゾーン，海洋文化ゾーンの振興方向の具体化
- 外部環境の急激な変化を踏まえた計画

総合計画の展開に向けた基本的考え方

協働・参画によるまちづくりの推進

○「自治基本条例」（Ｈ２０年１０月制定）に基づくまちづくりの推進
○まちづくりにおける“地区振興計画”の尊重
○“ゴールド集落”における地域住民がいきいきと光り輝く地域づくり

“地域力”を育む体制の強化

○「薩摩川内版地域力創造プログラム」（Ｈ２１年３月策定）による“活力と豊かさを感じる地域づくり”の推進

“都市力”の強化による定住自立圏の創出

○「定住自立圏」（Ｈ２１年３月：中心市宣言）の創出による中心部と周辺部の結びつきやネットワークの強化

シティセールスの推進による“交流活力”の創出

○「薩摩川内市ブランド計画」（Ｈ２１年３月）に基づく都市ブランドの構築とシティセールスの推進

経営力の高い自立した市政の推進

○「市政改革大綱（第２次）」（Ｈ２１年３月決定予定）の推進

総合計画における重点的取組

平成22年度～平成26年度における重点的取組

- 協働・参画
- 安心・快適
- 活力
- 人材・組織育成
- スピード・品質

→ ５つの視点から重点的取組を整理

総合計画における重点的取組

協働・参画

① 個性と魅力ある地区コミュニティ主体の地域づくり
② 地域資源を大切にし，ふるさとに誇りを持てるまちづくり
③ “活力と豊かさを感じるゴールド集落”の創出

安心・快適

① 高齢者や障害者（児）等を支える福祉のまちづくり
② 子育て支援体制の充実による子育てしやすいまちづくり
③ 地域医療体制の構築による安心のまちづくり
④ 防災・生活安全対策及び環境対策の充実による安全なまちづくり
⑤ 社会基盤の整備による利便性の高い都市づくり
⑥ 拠点的機能を活かしたまちづくり
⑦ 定住自立圏の形成による均衡のとれたまちづくり

活力

① 都市ブランドの構築による持続的な地域経済の活性化
② シティセールスの推進による総合的な情報発信
③ 農林畜産業及び水産業の振興と地産地消による農山漁村の活性化
④ 地域の特性を活かした交流躍動のまちづくり
⑤ 企業誘致の促進，工業団地の整備及び付加価値の高い地場産業振興による雇用の確保
⑥ 市街地の活性化によるにぎわいのあるまちづくり
⑦ 地域への愛着と誇りを持てる景観形成によるまちづくり
⑧ 情報通信技術（ＩＣＴ）の利活用による地域課題の解決

総合計画における重点的取組

人材・組織育成

① 豊かな人間性と郷土愛を育む教育の推進
② 地域づくりを担う人材と組織の育成及びまちづくりへの積極的な活用
③ 地域の歴史・伝統文化の保存・継承と新たな文化を創出・育成するまちづくり
④ 情報発信力を有する多様な人材・組織の育成

スピード・品質

① スピーディで品質の高い信頼される行政サービスの提供
② 市民との情報の共有・協働・参画によるまちづくり
③ 効率的・効果的な組織力の向上
④ 健全で持続的な財政経営基盤の確立
⑤ 広聴広報機能の充実によるスピーディな情報発信と市民ニーズへの対応